

公共スポーツ施設における指定管理者制度公募2巡目の現状と課題 The Issues in the Second Cycle Compulsory Competitive Tendering for Public Sport Facilities

間野義之

MANO, Yoshiyuki

早稲田大学スポーツ科学学術院

Waseda University, Faculty of Sport Sciences

キーワード: 公共スポーツ施設、指定管理者制度、2巡目

Key words: Public Sport Facilities, Compulsory Competitive Tendering, The Second Cycle

抄 録

2003年9月に地方自治法が改正され、公共スポーツ施設の管理運営に、民間企業を含めて原則公募とする指定管理者制度が導入された。しかし、公募はあくまでも原則であり、従前の管理運営者の雇用維持等の観点から、指定管理者制度の導入直後は移行措置として非公募が認められたため、1巡目は必ずしもすべての施設に競争原理が導入されたわけではない。このため、本稿では、体育施設出版が2009年に実施した公共スポーツ施設を対象としたアンケート調査結果をもとに、2巡目における公募の現状と課題を明らかにすることを目的とした。調査結果から、2巡目における公募の現状として、1巡目に比べて公募割合が増加している可能性があることが示唆された。しかし、その一方で公募であっても非営利法人が指定管理者となる割合が高く、営利法人の参入による競争原理の強化が図られているかどうかについては、必ずしも明白でないことが示唆された。

スポーツ科学研究, 7, 63-67, 2010年, 受付日:2010年4月8日, 受理日:2010年6月7日

連絡先: 間野義之 202-0021 東京都西東京市東伏見3-4-1 早稲田大学 STEP22-716

電話・ファックス: 0424-51-1025